

# 画像診断報告書

霧クリニック 放射線診断科

主治医: 北村 直幸 Dr. 検査日: 2018/02/09

氏名 キタムラ ナオユキ  
北村 直幸 殿

患者番号 45

検査名 CT

性別 男 生年月日 1968/08/27 49 才

## 症状経過等

中右頭左側肥厚あり、数年前に耳鼻科受診、画像での経過観察を勧められた。  
2013年右上葉肺炎、その後結節影が残存。ここ数年は経過観察を怠っている、精査。

## 所見 方法(単純) 部位(胸部、腹部、骨盤部)

甲状腺、肺野、肝、胆道系、膵、腎臓系をはじめとして胸部～骨盤内臓器部に悪性腫瘍や活動性炎症を疑う異常所見は認めません。胸水貯留や腹水貯留もありません。

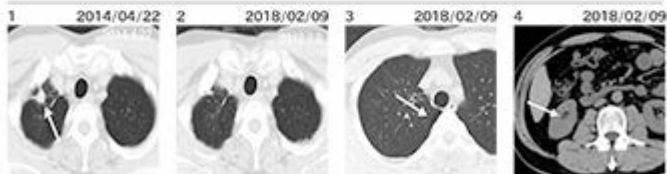
縦隔、腰部大動脈周囲は骨髄上～骨盤部にかけて有意サイズのリンパ節腫大は指摘できません。

右肺尖部胸膜直下に前回CT(2014.4.22)にて認めた結節影は縮小し、索状瘢痕を残すのみとなっています(図1-2)。炎症治癒果と考えます。中葉、舌区にも陳旧性炎症性変化を疑う線状影や索状影が散在します。中葉には軽度の気管支壁肥厚も認めます。

右上葉経隔側の胸膜下に長径25mm大のブラ/プレブが出現しています(図3)。他にも右肺上葉・中葉にはブラ/プレブが存在しますが、これら前回とはほぼ同様サイズです。

右腎下極の腎臓/乳頭部付近に微細な高吸収値があり、微小結石もしくは石灰化と考えます(図4)。

内臓脂肪量が多量です。



## 診断

明らかな活動性は指摘できません。  
ブラ/プレブ、両肺に陳旧性炎症性変化。

診断日 2018/02/10

🔍 画像の拡大